

川薩清修館高等学校 学校内部評価(生徒・保護者) アンケート総括

④そう思う ③だいたいそう思う ②あまり思わない ①そう思わない

	No.	アンケート内容	今年度の取組	生徒 評価	保護者 評価	評価の分析と改善方策
全体	1	学校は、学科の特徴を生かし、生徒一人一人の個性を伸ばしている。	系列選択でのミスマッチをなくすべくガイダンス等の実施 学科の目標である資格取得について、上級資格に重点を置いて指導	2.9	3.1	系列ごとの特徴や強みを適時生徒・保護者に周知する。 ビジネス会計科としての、役割など生徒・保護者への理解を周知していく。
	2	学校は、基礎学力の充実に努め、進路目標を実現させている。	学習実態調査の定期的な実施、主体的・対話的で深い学びのための指導法の工夫・改善	3.1	3.1	新学習指導要領の実施を見据えて、評価と指導のあり方の一体化を目指していきたい。
	3	学校は、体験活動の充実に努め、豊かな人間性や社会性を培う教育活動を展開している。	出前授業の実施、一日体験入学の実施	3.0	3.0	生徒が主体となった出前授業・体験入学を実施できた。
	4	学校は、地域の学校として地域活動やボランティア活動等に積極的に協力し、信頼を得ている。	ボランティア委員会によるペットボトルキャップ収集の実施	2.9	2.7	新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛の影響もあり、対外的なボランティア活動の推進が難しくなったこともあり、評価が平均0.4ポイント低下している。しかし、「そのような中でもできることは何か」という議論等を行うべきであった。生徒会によるポスター等の作成など、参加を促す活動を進める。
学習	5	学校は、様々な資格を取得するための体制を整えている。	授業・放課後などをつかった検定対策 主に授業の中での取組に重点 不足部分を放課後指導で対応	3.4	3.1	文理・スポ健系列の評価が伸びなかったのではないかと。授業での取組を周知する。 資格取得がの重要性を生徒・保護者に理解してもらうように取組を周知する。
	6	学校は、必要に応じて主体的な学習活動やIT機器を使用するなど、工夫があり理解しやすい授業を行っている。(生徒) 学校は、学力向上に向けて、授業方法の工夫・改善を講じている。(保護者)	3学期よりタブレットや電子黒板等のICT機器の整備・活用	2.9	2.9	来年度から本格的なICT機器の活用が期待される。
渉外	7	学校は、魅力ある学校づくりを目指して、活動をPRし、情報発信をしている。	学校だより・学校ブログの充実		2.9	今年度の流れを来年度につなげていきたい。
	8	学校とPTA会員の協力を軸として、組織的なPTA運営が行われている。	新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの活動が停滞		2.9	来年度は意欲的に活動していきたい。
生徒指導	9	学校は、家庭・地域・関連機関と連携のとれた指導を行っている。	情報モラル教育について、講座を実施予定		2.9	外部との連携がとりづらかったこともあり、今年度の状況はあまり芳しくない。次年度は年間を通した計画をしっかりと立て、オンラインやリモートも活用した連携を模索したい。
	10	学校は、スマートフォン等の適切な使い方と情報モラルについて啓発・指導を行っている。	スマホ等持ち込みを今年度から開始 持ち込みの規定を周知・指導	3.3	3.2	「そう思う」「だいたいそう思う」が約90%であるが、単純に持ち込みを認めたことによる高評価ではないかと推測する。校内規定の浸透はまだまだ足りないし、マナー違反は後を絶たない。繰り返し指導を徹底していくしかない。
	11	学校は、生徒の発するサインを見逃さず、早期発見・早期対応をしている。	学校生活アンケートを年5回計画 現在4回実施	3.0	2.7	大きな事案は発生していない。アンケート後の面談等を行い、早期発見に努めている。しかし、「あまりそう思わない」などが約30%未満いることから、相談できる雰囲気づくりが必要と考えられる。
	12	学校は、いじめや差別のない人間関係を構築し、自他の生命を尊重する態度を育てている。	いじめを考える週間やいじめ統一LHRを計画・実施	3.0	2.7	新型コロナウイルス感染による休校等もあり、資料配布のみとなった。人権同和係との連携による生徒の心に訴える取り組みの必要性を感じる。
	13	学校は、交通ルールの遵守と交通マナーについて適切な指導を行っている。	交通安全教室、原付運転講習会の計画・実施 交通違反・交通事故発生時等の啓発	3.4	3.0	啓発しているが、交通マナー違反や事故等は依然として起こっている。「そう思う」等が約80%を超えているが、実効性のある指導の必要性を感じる。
進路指導	14	学校は、生徒・保護者に対して進路に関する情報を提供している。	各学期末に加え、コロナ号、就職、進学合格号の発行	3.4	3.1	「そう思う」「だいたいそう思う」が生徒95.7%、保護者も89.1%であり、良好であると考ええる。来年度も同様の取り組みをしたい。
	15	学校は、進路に関するガイダンスやセミナー等を行い、適切な指導を行っている。	コロナの影響もあり、中止、時期変更で実施	3.4	3.0	「そう思う」「だいたいそう思う」が生徒92.3%、保護者も85.3%であり、良好であると考ええる。生徒の進路意識啓発のために今後も充実した取り組みをしたい。
	16	学校は、進路実現のために、個別指導や放課後指導を行っている。	共通テスト対策や面接対策の実施	3.3	3.0	各学年、進路指導部の継続的な指導がなされた。昨年度に続き、国公立大学を狙える学力を備えた生徒も出てきた。
特別活動	17	学校は、【生徒会活動・学級活動を通じて(生徒)】【よい学校生活づくりに参画する意識を高め(保護者)】、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育成している。	生徒会長の発案で、頭髮服装指導への呼びかけ実施	3.0	2.9	生徒会全体の自主的な活動に拡げる手立てとフォローが必要である。
	18	学校は、部活動を通して健康で豊かな心身を育成する指導を行っている。	高校部活動活動方針の周知・徹底 部活動の練習計画の整備 新型コロナウイルス感染対策の徹底による大会参加などの保健部との協力体制により実施	3.1	3.1	おおむね評価は高い。
	19	学校は、学習と部活動の両立のための支援をしている。	部顧問と定期考査前後の課題提出状況の確認	3.0	3.0	高評価は8割以上であるが、部活動に入部している生徒の減少もあり、各部の規模に格差がでている。このことが、取り組みの評価の高さと実態の違いになっているのではないかと。
保健指導	20	学校は、薬物乱用防止やたばこの害、性に関する指導を適切に行っている。	コロナ対策をしながら、薬物乱用防止と性に関する講話の実施 たばこの害については、1学年の教科「保健」の授業で実施	3.4	3.1	ブログや清修館だよりで講話の実施については、保護者へ発信している。内容についての話題が家庭でされていない事が保護者評価につながっていると考える。心に残る講話内容を検討する。
	21	学校は、健康で安全な学習環境を整備している。	清掃区域職員が月1回の安全点検日に施設設備の点検。緊急性があるものは、事務室へすぐ連絡。	3.3	3.1	今年度、施設整備された場所が多い。理解していただけるよう、情報発信する。
	22	学校は、健康管理について家庭と連携を固り取り組んでいる。	各学級の担任団、部顧問と連携。必要に応じ、養護教諭が家庭と連絡		2.9	健康診断の結果は、1学期に学級担任経由で配布。日々の健康管理については、健康観察簿で確認し、担任と連携。保健室へ来校する生徒について、担任と連携を密にし、保護者への理解を得たい。
他	23	学校は、新型コロナウイルス感染症に対して、状況に応じた指導を行っている。	保健体育の授業内でのプリント指導と教室掲示での学級指導、学期毎の保健講話	3.2	2.9	保健講話、教室指示物を踏まえた学級指導、消毒液の準備、マスクの準備などの取組を適時実施していると自負しているが、保護者評価が2.9ととても低い。保護者へ学校としての取組を理解して頂けるよう対策する。
	24	本校に入学して(させて)良かった。	学習指導・生徒指導両輪で、一人一人の進路実現に向けた取り組みを実施	3.2	3.3	本人や保護者への進路情報を確実に提供し、綿密な面談を通して信頼関係を構築し、一人ひとりの進路実現につなげていく。